

会報発刊によせて



関東支部 支部長
佐藤 竜

会員の皆様には益々ご健勝のごとお慶び申し上げます。

私ども関東支部は竹朋会本部(山形)の御指導のもと、関東在住の会員の方々の親睦を図り、会員のご活躍の状況等を関東より山形に、そして全国に発信する役割を担うことが出来ればと考えております。どうぞご支援ご協力の程お願い致します。

さて、竹朋会は長い歴史と共に育まれ、現在会員数は二万名を超えております。

関東地区におきましても、就職や進学を機に上京された多くの方々が活躍されております。私も十三年前に進学のため上京しました。

当時はまだ関東支部は設立されておらず、竹朋会並びに山本学園諸先生方の御指導のもと、在京者有志一同で平成十二年六月十四日、第一回竹朋会関東懇親会を開催致

しました。懇親会には大先輩の方々も含め百名以上お集まりいただき、改めて竹朋会の絆の深さを感じました。ここから関東支部は誕生に至りました。

今後私どもは、悲願でもあります第二回竹朋会関東支部の集い実現に向け鋭意努力していく所存です。

最後に、高校卒業後の進学ニーズも多様化している一方、経済の東京一極集中はまだまだ衰えをみせません。

私どもは、夢や希望に満ち溢れ上京され、日々頑張っている後輩達への良き道標となれば幸いです。また、そう感じていただける関東支部にしていきます。

今後とも関東支部をよろしくお願ひ申し上げます。

関東支部の集い

- ◆日時 平成20年6月15日 日曜日 正午～
- ◆場所 東京ガーデンパレス
- ◆会費 6,000円

竹朋会に寄せて



竹田技専
二十九回 卒
長岡みゑ子

私が、竹田技専専門学校に入学したのが昭和二十三年四月。当時学校は小姓町にあり、あまり学校らしくない竹まいでありましたが、その学校生活は先生方も生徒も創始者渡利アイ先生の竹田流裁縫の技術を修得しようという熱意と活気の溢れたものでした。秋の文化祭では一年間の成果の和洋裁手芸等の展示、大勢のご父兄、他校の生徒さんで賑わい、今でも胸の高鳴る思い出です。

卒業後母校の教職に十年間就かせていただきました。二十代から三十代にかけて私の、言わば青春時代の熱気と力で生徒と向き合えた十年間、それに応えるように慕ってくれた生徒達、今でも私にとっては宝物のように思えます。

家庭の都合で職を退かせて頂いて四十余年が過ぎました。その間色々と母校や竹朋会にかかわる行事のご連絡があると、やっぱり

嬉々として参加させていただいております。

それは若い時は懐かしいが先生方にお会いするのが嬉しく、その後は教え子が先生になり、その教え子が教職に就

いている、また社会で大活躍している事もすばらしく、十代、青春時代の私を青み燃え立たせてくれた母校、そして私を支えてくださった沢山の方々との絆を思い、やっぱりここは私の「心のふるさと」と思えるからなのです。

竹朋会はこの度新体制となり、永年当会を育み守って下さった渡辺慶子前会長のその功績に心から感謝申し上げたいと思います。

そして、遠藤陽子新会長の下新体制の役員・事務局の皆様には、私の「心のふるさと」竹朋会を益々大きく発展させてくれるものと期待しております。

これから母校を巣立つ生徒の皆様「心のふるさと」の為にも、母校、そして竹朋会が力強く歩みゆくことを心からお祈り申し上げます。